

基本政策5
「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生
～地域の誇りが交流を生むまちに～

まちづくり分野	総合戦略 分野
5-1 スポーツ…………… 132	まち ひと しごと
5-2 生涯学習…………… 134	
5-3 歴史・文化…………… 139	
5-4 公園・緑化…………… 142	
5-5 観光…………… 144	
5-6 交流…………… 147	



現状と課題

- 市民の誰もが参画できるスポーツ社会の実現に向け、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」を含めた様々な方向からスポーツへの参画を図るとともに、ライフスタイルに応じた多様なニーズに応えるため、的確な情報を提供することが求められています。
- 少子化や遊びの多様化により、スポーツをすることの数が減少傾向にあります。
- 幼児期からスポーツに親しむ機会をつくり、スポーツへの関心を高め、こどものスポーツ離れの解消やスポーツ人口の底辺拡大を図り、こどもの体力向上から生涯スポーツの普及へとつなげていく必要があります。

基本的な方向性

- 「阿南市スポーツ振興計画」に基づき、年齢や性別を問わず、誰もが身近にスポーツに親しむことができるよう計画的なスポーツ環境・施設の整備促進や指導者の育成・充実を図るとともにこどものスポーツ人口の拡大を進めます。
- B&G 海洋センター等の施設を活用した、SUP*を始めとする海洋スポーツの体験や学習、屋内多目的施設「あななんアリーナ」等を活用したベースボール型スポーツ*など、本市の特色を生かした取組により、生涯スポーツを推進し、達成感や成功体験を得ることによる自己肯定感を育むとともに地域の自然に愛着を持てる豊かな心を醸成します。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 生涯スポーツ振興と地域スポーツ振興の推進

主要な施策

- ▶ スポーツに関する幅広い情報提供の推進
- ▶ スポーツ指導者の育成と確保
 - ☞ 地域のスポーツニーズを反映するため、スポーツ推進委員のスキル向上と積極的活用を図る。
- ▶ スポーツ環境・施設の整備促進
 - ☞ 市内体育施設の適切な維持管理を行うとともに、照明設備のLED化や再生可能エネルギー設備の導入を推進する。
- ▶ こどものスポーツ体験活動の推進
- ▶ スポーツをする機会の提供
 - ☞ 全ての市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供や施設利用料の負担軽減などの環境づくりに努める。

KPI(重要業績評価指標)

指標名

総合型地域スポーツクラブの会員数

実績 (2019)

450人



現状 (2023)

348人



目標 (2028)

450人

指標の説明

総合型地域スポーツクラブの会員数

日常的にスポーツに親しみ、健康で生きがいを持った生活につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

より多くの市民がスポーツに関われるよう、目標値を設定

この目標達成により、市民が生きがいを見つけ、健康で豊かな生活を実現することに寄与

関連する個別計画

- 阿南市スポーツ振興計画
- 阿南市教育振興基本計画

ビジョン

生涯活躍できる力を地域と共に育むまちづくり



現状と課題

- こどもから高齢者までのあらゆる市民が、地域社会の中で豊かな人生を送るため、様々な学びや体験、共に学び合い交流する機会の充実が求められています。また、多様なニーズに対応し、幼年期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた学習活動を支援することにより、市民一人一人の意欲・意識の醸成を図ることが求められています。
- 各種講座、イベント等は開催されているものの、参加者の減少、固定化が課題となっています。多様なニーズに応じた生涯学習活動の展開とネットワークづくり、また、学んだことを地域での活動に生かす人材の育成が必要となっています。
- 図書館は市民の身近な読書・学習の場として親しまれていますが、多様な市民のニーズや社会状況の変化等に対応し、より多くの利用を図る取組が必要です。
- 令和3年に阿南図書館が休止し、現在は那賀川・羽ノ浦図書館と市役所図書館カウンターでサービスを提供していますが、資料保存スペースの不足が顕著であり、また那賀川図書館は施設の老朽化による修繕の必要性が高まっています。
- 科学センターでは、市内の小学3年生から6年生及び中学3年生を対象に、年間約100日をかけて「科学センター理科学習」を実施しています。また一般の方を対象に「おもしろ科学実験」を始め、「わくわく科学工作」や「夜間天体観望会」のほか、流星群や日食・月食など天文現象に合わせて「特別天体観望会」も実施しています。

基本的な方向性

- 知識基盤社会の進展を見据え、あらゆる世代が生涯を通じて能力を高め、生きがいを見出し、主体的な学習意欲を持つよう、時流に適應する環境整備とリーダーの育成を中心とした生涯学習活動の活性化に努めます。また、社会教育施設の有効利用を図るため、計画的に老朽化対策に取り組み、施設の省エネ化、脱炭素化を図るとともに、利便性の高い学習環境の維持更新に努めます。
- 市民ニーズの反映に努めつつ、人的ネットワーク・施設間ネットワーク・関係機関ネットワークをより活用し、市民の主体的な学習活動を支援する取組や社会人の学び直しを支援するための「リカレント教育*」を推進します。
- 長寿化社会の中で、学んだ成果を地域社会で生かす「新しい公共*」の視点に立った学習の在り方を構築するため、様々な学習機関を支援し、少子高齢化、国際化、高度情報化など多様な社会変化やライフスタイルに対応できる人材を育成し、生涯学習社会の実現を目指します。
- 市民が気軽に読書相談やレファレンスサービス*を利用できる環境を整え、図書館の利用を促進するとともに、読書推進活動や学びを支えるネットワークの構築に取り組みます。

- こどもから大人まで全ての市民の生涯学習を支える拠点として、幅広く充実した資料を収集するとともに、誰もが思い思いの豊かな時間を過ごす居心地の良い空間を提供することを目的し、阿南中央図書館（仮称）の整備に取り組みます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1

多様なニーズに応じた生涯学習活動の推進

主要な施策

- ▶ 公民館活動の推進
 - ☞ 住民のニーズや地域・各世代の実情に応じた幅広い分野にわたる講座・教室の提供とサークル活動の支援を図る。
- ▶ 生涯学習情報の提供の拡充
- ▶ 市民参加による生涯学習機会の推進
 - ☞ ニーズを反映した成人大学や生涯学習推進大会等を通じて、自然環境や歴史、防災知識やスキルを学び、生涯にわたり学び続ける機会を提供する。
- ▶ リカレント教育*の推進
 - ☞ 社会人の学習ニーズに対応し、専門性を生かした質の高い教育や学び直しの支援を行う。
- ▶ 幅広い利用者層に対応した図書館サービスの展開
- ▶ 多様な科学センター事業の推進

KPI(重要業績評価指標)

指標名 公民館の稼働率

実績（2019）
13.8%



現状（2023）
14.8%



目標（2028）
30.0%

指標の説明

公民館自主事業や貸館などの公民館稼働率
様々な学びや活動を行っている市民の割合を把握できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

生涯学び続ける機会の提供を増やすことを目指し、目標値を設定
この目標達成により、生きがいを見つけ自分らしさを発揮し豊かな生活を実現することに寄与

重点テーマ2 学びを支える環境整備

■主要な施策

- ▶ 公民館の適正な管理の推進
 - ☞ 社会教育活動の拠点、地域の防災拠点として、市民が安心して利用できるよう適正に管理する。
- ▶ 社会教育施設の照明設備 LED 化の推進
 - ☞ 2027（令和9）年末の蛍光灯の製造禁止に備え、照明設備のLED化に取り組み、施設の省エネ化、脱炭素化を図る。
- ▶ 図書館サービスネットワークを通じた市民の読書・学習環境の向上
- ▶ 市民への科学情報の提供

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

社会教育施設の照明設備 LED 化率

実績（2019）

0%



現状（2023）

6.3%



目標（2028）

100%

指標の説明

社会教育施設ごとのLED照明設備の整備率

社会教育施設におけるLED照明設備の整備状況を把握できるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

全ての照明設備のLED化を目指し、目標値を設定

教育環境の向上とともに、照明の使用電力を抑えることによる省エネ化・脱炭素化に寄与

重点テーマ3 科学センターの有効活用と科学教育の推進

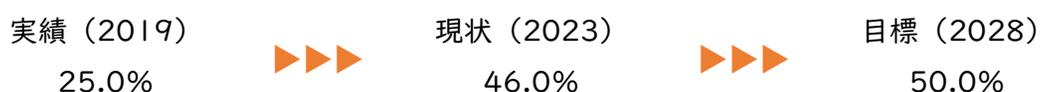
主要な施策

- ▶ 科学センター理科学習の充実
 - ☞ 科学への興味・関心を持てるよう年齢層に応じたわかりやすい授業を実施する。
- ▶ 地元企業及び団体とのネットワークの確立
 - ☞ 地元企業や教育団体等と連携し、地域の理系人材の育成に努める。
- ▶ 科学分野における学校支援の充実
 - ☞ 市内小・中学校と連携し、理科教材教具等の貸出しや指導相談等の支援を行う。

KPI(重要業績評価指標)

指標名

理科が好きと思う児童・生徒の割合



指標の説明

センター学習を受講した市内の児童・生徒の内、理科が好きと答えた割合
科学センターによって得られる効果を計ることができるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

各種事業の拡充により割合の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、理系人材の育成に寄与

重点テーマ4 中央図書館を拠点とした図書館活動の推進

主要な施策

- ▶ 阿南中央図書館（仮称）の整備（再掲）
 - ☞ 豊富な資料を収集・保存し提供する図書館機能と、多様な利用者ニーズに応える複合機能を一体的に整備する。
- ▶ 官民連携の手法による図書館サービスの提供
 - ☞ 地元書店や地域のプレーヤーと連携し、利用者の利便性の向上を図る。
- ▶ 図書館資料の充実
 - ☞ 幅広く豊富な資料を収集し、市民の高度で多様な学びを支える。
- ▶ 図書館サービスの充実
 - ☞ 多様な利用者層に応じた図書館サービスを提供し、市民の生涯学習・読書活動を推進する。

KPI(重要業績評価指標)

指標名 市民一人当たり貸出数

実績（2019）

8.4 冊



現状（2023）

7.27 冊



目標（2028）

8.5 冊

指標の説明

総個人貸出冊数を市人口で割った数

市民の図書館の利用状況を計る数値として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

幅広い図書・資料の充実により利用者の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、こどもの読書活動の推進や市民交流の促進に寄与

関連する個別計画

- 阿南市教育振興基本計画
- 阿南市立新図書館基本計画
- 阿南市子どもの読書活動推進計画
- 阿南中央図書館（仮称）整備計画

5-3

歴史・文化

ビジョン

文化芸術活動が活発で歴史・文化資源を生かしたまちづくり



現状と課題

- 月日の経過とともに失われつつある文化遺産（古文書の史・資料）の調査収集・整理・管理・保存に努めていますが、保存場所の確保に苦慮しています。
- 人口減少社会において、文化施設の有効な利用方針の明確化が必要です。
- 文化財調査・整理・保存の多くが滞っている現状から、早急に新たな人員体制の確立が必要です。
- 国指定史跡を含めた文化財を通して、ふるさとの歴史や文化を学べる拠点づくりが必要です。

基本的な方向性

- 豊かな歴史・文化の継承と新しい文化の創造に向け、市民参画、市民主導による文化芸術活動を一層促進していくとともに、文化財を後世に確実に継承するための調査・管理・保存・整備及び積極的な情報発信、活用に努めます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 文化施設における文化芸術活動の推進

■主要な施策

- ▶文化施設の適切な維持管理と整備
 - ☞指定管理による運営と施設の長寿命化により、文化活動の拠点としての機能維持を図る。
- ▶優れた文化芸術の鑑賞や発表の機会の充実
- ▶市民参画、市民主導の文化芸術活動の促進
 - ☞指定管理者や団体個人による各種文化教室の開催により、市民の生きがいを支える。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 文化会館の稼働率

実績 (2019)	現状 (2023)	目標 (2028)
37.7%	37.8%	50.0%

指標の説明

毎月の利用件数／利用可能件数の年間平均
施設の運営効率や活用度を示す重要な指標となるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

2023（令和5）年度の実績 37.8%を踏まえ、年間2%の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、心豊かで潤いのある生活の実現に寄与

指標名 情報文化センターの稼働率

実績 (2019)	現状 (2023)	目標 (2028)
45.4%	39.6%	60.0%

指標の説明

毎月の利用件数／利用可能件数の年間平均
施設の運営効率や活用度を示す重要な指標となるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

2023（令和5）年度の実績 39.6%を踏まえ、年間4%の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、個性豊かな市民文化の振興に寄与

重点テーマ2 歴史・文化資源の調査・保存活用と継承

■主要な施策

- ▶ 文化財の調査と適切な管理・保存及び情報発信
 - ☞ 既知の文化財の知見のブラッシュアップと埋もれた文化財の調査やそれらの適切な管理、保存、情報発信により郷土への誇りの醸成を図る。
- ▶ 国史跡若杉山辰砂採掘遺跡整備事業の促進及び積極的な公開活用
 - ☞ 遺跡の整備と積極的な公開により人を呼び込む体制づくりとともに、郷土の歴史への関心を高める取組を実施する。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

指定等文化財の保全・活用団体数

実績（2019）

1 団体



現状（2023）

2 団体



目標（2028）

4 団体

指標の説明

阿南市の指定等文化財の保全・活用団体数

文化財保全活動の現状を客観的に把握できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

2023（令和5）年度の実績2件を踏まえ、2年で1団体の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、自分たちの地域（歴史）は自分たちで守っていく意識高揚と地域共同体としてのきずなの強化に寄与

関連する個別計画

- 阿南市教育振興基本計画
- 史跡若杉山辰砂採掘遺跡保存活用計画
- 史跡若杉山辰砂採掘遺跡整備基本計画
- 辺地に係る公的施設の総合的な整備に関する財政上の計画（史跡若杉山辰砂採掘遺跡活用整備事業）

5-4

公園・緑化

ビジョン

安全・安心で快適な緑の憩いの広場を提供するまちづくり



現状と課題

- 公園施設・遊具の老朽化が進む現状において、限られた財源の中、適切な維持補修・更新が厳しく、遊具の利用禁止・撤去といった状況が発生しています。
- 安全で快適に過ごせる空間を提供する公園本来の機能を維持していくためには、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に補修・更新を行っていくとともに、公園施設配置の適正化を進める必要があります。

基本的な方向性

- こどもから高齢者まで、幅広い世代が集い、交流し、運動や遊びに親しみながら、ふれあい、心の安らぎが得られる憩いの空間づくりのため、フェーズフリー*の観点も考慮しつつ市民参画・協働の下、公園、緑地施設の適切な整備・管理を行います。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1

公園施設の整備

主要な施策

▶公園における防災機能の強化

- ☞立地条件に応じ避難場所として利用されることを想定して、施設更新時に防災機能の付加を検討する。

▶公園の利用促進

- ☞多様なニーズに対応するため、公園機能の集約・再編・追加や民間活力の導入検討などによる公園の魅力向上・利用促進を図る。

KPI(重要業績評価指標)

指標名 公園緑地で実施するイベントでの利用件数（年間）

実績（2019） 23 件 現状（2023） 33 件 目標（2028） 40 件

指標の説明

公園緑地において開催するイベント行為の許可件数（年間）
イベント開催数と公園利用者数の間には強い相関関係があることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

過去4年間の増加分を考慮し、目標値を設定
この目標達成により、公園利用者の増加に寄与

重点テーマ2 公園施設の維持管理

主要な施策

- ▶ 計画的な維持管理による公園施設の長寿命化
- ▶ 市民との協働による公園の適正な管理
 - ☞ 「維持管理協定」や「パークアドプト*」制度を活用し、市民との協働による公園管理の定着を図る。

KPI(重要業績評価指標)

指標名 公園の維持管理委託団体数

実績（2019） 31 団体 現状（2023） 29 団体 目標（2028） 32 団体

指標の説明

公園の通年的な維持管理に携わった団体数
公園の維持管理協定団体が増加することは、市民参画・協働の推進となることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

現在、維持管理協定の締結に至っていない3公園を追加することを目指し、目標値を設定
この目標達成により、愛着を持った公園利用につながることに寄与

関連する個別計画

- 阿南市公園施設長寿命化計画
- 阿南市都市計画マスタープラン

ビジョン

豊かな地域資源を生かした観光・スポーツツーリズム*のまちづくり



現状と課題

- 本市には、魅力あふれる自然や歴史、文化など観光資源が点在していますが、その魅力を観光誘客に十分に生かせていないのが現状であり、これまでの課題である交通アクセスの利便性向上と併せて、本市の魅力発信の強化に取り組む必要があります。また、徳島阿波踊り空港と香港、韓国を結ぶ国際線定期便の運航開始により、インバウンド*に向けた施策も重要となります。
- 国民的スポーツであり、本市でも生涯スポーツとして盛んに行われてきた「野球」をまちおこし策として捉え、野球大会の開催、野球観光ツアー、野球合宿の誘致等による県内外からの集客により産業の振興及び地域の活性化を図っています。
- 本市の豊かな自然とスポーツを融合した新しい形の合宿・観光ツアーの実施や、市民の関心度が高いイベント等を開催することで、交流人口*の拡大や関係人口*の創出・拡大を図る必要があります。

基本的な方向性

- 室戸阿南海岸国定公園等の恵まれた自然やこの地で育まれた歴史、文化などを生かしながら、体験・体感型観光プログラムの充実や観光ルートを確立するとともに、安全・安心で快適な「新しい旅行スタイル」に沿った観光需要に応える受入環境の整備を促進し、阿南市観光協会を始め、みなみ阿波観光局や南阿波定住自立圏*などと連携しながら、本市の地域資源とマッチングした新たな観光開発及び情報発信の強化に取り組みます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 地域資源を生かしたスポーツツーリズム*の推進

■主要な施策

- ▶ スポーツツーリズム*による産業振興、地域の活性化、交流、関係人口*の創出・拡大
 - ☞ 野球に特化したスポーツツーリズム*の野球観光ツアーや、野球と地域の豊かな自然を活用したスポーツ合宿を行い、県外からの集客を図る。
- ▶ 本市ならではの海洋体験ツアー等体験型観光プログラム充実の支援
 - ☞ 海水浴場の開設を始め、SUP*や観光地引き網などの海洋体験型観光プログラムの充実を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 スポーツイベント等参加者数（延べ人数）

実績（2019）	▶▶▶	現状（2023）	▶▶▶	目標（2028）
6,670 人		8,014 人		9,000 人

指標の説明

野球観光ツアー、野球合宿、野球大会、SUP*体験会への参加延べ人数
野球などの地域資源の活用による地域経済の活性化を目指し、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

2023（令和5）年度までの実績を踏まえ、目標値を設定
この目標達成により、地域の活性化及び交流・関係人口*の創出拡大に寄与

指標名 スポーツツーリズム*の経済効果額（年間）

実績（2019）	▶▶▶	現状（2023）	▶▶▶	目標（2028）
80,000 千円		95,773 千円		100,000 千円

指標の説明

野球観光ツアーや野球合宿等の経済効果額（年間）
地域経済への効果を計る指標として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

スポーツツーリズム*による地域経済の活性化を目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域の活性化及び交流・関係人口*の創出拡大に寄与

■主要な施策

- ▶ みなみ阿波観光局、南阿波定住自立圏*との連携強化
 - ☞ 県南地域の魅力度向上を図り誘客につなげるため、みなみ阿波観光局、南阿波定住自立圏*と連携・協力する。
- ▶ インバウンド*誘致環境整備の促進
 - ☞ 訪日観光客の利便性向上のため、多言語対応のホームページ整備や観光案内所、パンフレットの充実を図る。
- ▶ 観光関連団体との連携・協力によるイベント等の開催
 - ☞ 観光関連団体や商工会等と連携し、阿南の夏まつりや活竹祭などのイベントを開催することで、地域振興を図る。
- ▶ 自然や歴史、文化を生かした観光コースの造成・紹介
- ▶ 特産品の磨上げや販路拡大
- ▶ YouTube や SNS 等の積極的活用による本市の魅力発信の強化

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

観光客入込数（年間延べ人数）

実績（2019）

641,893 人



現状（2023）

712,964 人



目標（2028）

750,000 人

指標の説明

一定期間内に観光地を訪れた観光客の延べ人数
観光客の動向を数値化できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

市内の観光地への観光客の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、観光消費額の増加による市内経済への波及効果の拡大に寄与

指標名

観光関連イベント来場者数（年間延べ人数）

実績（2019）

117,543 人



現状（2023）

87,600 人



目標（2028）

120,000 人

指標の説明

一定期間内に市が主催するイベントへの来場者の延べ人数
イベント来場者の動向を数値化できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

市内イベントへの参加者の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域の活性化及び交流人口*の拡大に寄与

5-6

交流

ビジョン

地域資源を生かした関係人口*の創出・拡大と持続可能なまちづくり



現状と課題

- 本市には、「ふるさと阿南を大切にしたい」、「ふるさと阿南を応援したい」という想いをもち、本市出身及び本市にゆかりのある方で組織された「東京・阿南ふるさと会」、「関西・阿南ふるさと会」があります。ふるさと会では、会員相互の緊密な関係を図りながら、各種行事等を通じ、ふるさと阿南との連携を深めてきましたが、新規会員の確保が課題となっています。
- 阿南 SUP タウンプロジェクト*を通じて、関係人口*である ESCA*会員及び ESPA*事業者と協働して清掃活動や SUP*レースを実施していますが、事業の継続・強化のためには両登録会員を拡充していく必要があります。
- 本市では、自主財源を確保するとともに SDGs の達成にも貢献できるように「阿南市版ふるさと納税制度」を運営しています。地域活動を通して、まちの外から阿南市を応援していただける人々と共に、ふるさと納税を原資とした地域資源を生かした各種事業を効果的に展開し、関係人口*の創出と拡大につなげていく必要があります。
- 災害相互応援協定やパートナー協定などを締結している自治体のほか、様々なつながりによる連携や交流を行っている自治体もあります。これらの自治体とのこれまで築き上げてきた関係性を継続発展する必要があります。
- 2019（令和元）年4月の改正入管法の施行により、本市における外国人住民は増加しており、今後もその傾向は続く想定されることから阿南市国際交流協会との更なる連携が必要となっています。

基本的な方向性

- 東京・関西ふるさと会の運営により、これまで築いてきた会員相互の関係を保持しつつ、課題である新規会員の確保につなげ、関係人口*の拡大・深化を図ります。また、阿南 SUP タウンプロジェクト*を推進することで、関係人口*の創出・拡大・深化に取り組み、地域の活性化及び移住・定住につなげていきます。
- 阿南市版ふるさと納税では、持続可能な社会づくりを実現させていくために、環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発に取り組む事業者を支援するとともに、今後もふるさと納税を原資とした地域資源を生かした各種事業を効果的に展開し、関係人口*の創出と拡大につなげていきます。
- 交流自治体相互の住民が真に心豊かな生活を送ることができる魅力あるまちづくりを目指します。

- 国際交流協会の活動を支援し、持続可能な民際交流（市民や民間団体による国境を越えた交流）の推進を図ります。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 関係人口*の拡大・UIJ ターン*促進による地域経済好循環の実現

主要な施策

- ▶ 地域資源を生かした関係人口*の創出・拡大による持続可能なまちづくりの推進
 - ☞ 環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発に取り組む事業者を支援するとともに、今後もふるさと納税を原資とした地域資源を生かした各種事業を効果的に展開し、関係人口*の創出と拡大につなげる。
- ▶ 移住交流支援センターを中心とした UIJ ターン*の促進
 - ☞ 移住促進コーディネーターを配置し、移住フェア・セミナーへの出展、移住相談や希望者の現地案内等を行い、UIJ ターン*を推進する。
- ▶ ふるさと会と連携した本市ゆかりの方の郷土愛の醸成
 - ☞ 東京と関西の両ふるさと会運営支援により本市ゆかりの方の郷土愛を醸成し、首都圏の自治体や大学等との連携を継続し、本市応援団としての関係人口*の創出・拡大を図る。
- ▶ 地域経済の好循環につながる創業支援
 - ☞ 市内での起業を対象に新規創業促進補助金を交付する。
- ▶ 多様な国内交流による魅力あるまちづくりの推進
 - ☞ 連携自治体との関係性を深化させることにより、共通する強みに磨きをかけ（相乗効果）、お互いの課題解決に知恵を出し合うことで（相互補完）、交流自治体相互の発展と地域の活性化を図る。
- ▶ 災害時相互応援に関する交流自治体との連携強化による地域防災力の向上
 - ☞ 平時における防災訓練への相互派遣や情報共有、有事の際の協定及び友愛的互助精神による迅速な応援を実施することにより地域防災力を高める。
- ▶ 民際交流の推進による共生社会の実現と地域経済の活性化
 - ☞ 阿南市国際交流協会や野球のまち推進協議会など民間団体等への支援を行い、外国人にとって住みよい地域社会を実現するとともに、インバウンド*による地域経済の活性化を図る。

KPI(重要業績評価指標)

指標名

阿南市版ふるさと納税による寄附総額（年間）

実績（2019）

189 千円



現状（2023）

563,507 千円



目標（2028）

1,000,000 千円

指標の説明

阿南市版ふるさと納税による寄附金受入額（年間）

受入額の実績が全国から注目を集めることによる関係人口*の創出や地域経済の活性化の指標となることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

毎年度1億円ずつ寄附額を上積みしていくことを目指し、目標値を設定

この目標達成により、受入額の増加による財源確保が図られるとともに、返礼品やプロジェクトを通じた本市の魅力浸透による関係人口*の拡大や地域経済の活性化に寄与

指標名

県外からの移住者数（年間）

実績（2019）

324 人



現状（2023）

314 人



目標（2028）

370 人

指標の説明

転入状況アンケートにおける県外から自らの意思で定住を目的に転入してきた人の数（年間）

関係人口*の拡大や UIJ ターン*促進の取組が県外からの移住者増加につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

県内トップクラスの移住者数を維持していくことを目指し、目標値を設定

この目標達成により、人口減少の抑制による持続可能な地域社会づくりに寄与

